

庁舎づくりを考える 市民ワークショップ 開催概要

～ 目 次 ～

1. ワークショップの概要・・・1
2. 第1回 開催内容・・・2
3. 第2回 開催内容・・・4
4. 第3回 開催内容・・・6
5. まとめ・・・8

十和田市

1. ワークショップの概要

(1) 開催主旨

【概要】

「庁舎づくりを考える市民ワークショップ」は、窓口をはじめとする市民が利用する機会の多い市役所の各機能等について、利用者の視点からの意見を広く聴くことで、新庁舎建設の設計等に活かすことを目的に、自由に意見交換を行う場として全3回開催しました。

このワークショップで出されたご意見は、今後の新庁舎の基本設計や実施設計業務において、基礎資料のひとつとして活用していくこととしています。

【申込み状況】

1月25日から2月10日の期間において、18歳以上の市民の方を対象に参加者を一般公募したところ、15名の方から応募がありました。

当日参加者も加え、1回あたり12~14名の市民の方からご参加いただき、実施しました。

【実施体制】

各回のテーマに沿って、市職員および設計事業者による概要説明を行い、その後、参加市民・市職員・設計事業者の3者が同じテーブルに着き、意見交換を行う形式としました。

各テーブルごとに意見の取りまとめた上で、発表を行い、最後に全体での意見交換を行いました。

(2) 開催スケジュールなど

場 所 十和田市南公民館

第1回 「新庁舎の雰囲気や機能について考えよう」
2月20日（土） 午後1時～ （参加者 23名）

第2回 「敷地利用や施設の配置について考えよう」
2月29日（月） 午後6時～ （参加者 21名）

第3回 「使い方を検証しよう」
3月10日（木） 午後6時～ （参加者 21名）



ワークショップの進行手順

1. 主旨説明
2. 事例等の説明
3. イメージ等の検討
4. 各テーブル意見取りまとめ
5. 各テーブル意見発表
6. 意見交換
7. 総括・終了

2. 第1回 開催内容

テーマ「新庁舎の雰囲気や機能について考えよう」



第1回ワークショップは、設計事業者から4名、市担当職員5名、市民委員12名、当日参加者2名により開催されました。

まず初めに、設計事業者から、プロポーザル提案の内容や現在の市役所敷地状況、他の自治体の例等の説明がありました。

その後、設計事業者、市担当職員、市民の方々が同じテーブルに着き、3つの班による検討、意見交換が行われました。

各グループから出た主なご意見

○プロポーザル案について

- ・ 通りへの景観に配慮してほしい（建物は通りに面して、駐車場は建物の奥に）
- ・ 庁舎へアクセスしやすいように（人、車）
- ・ 通りと連携するような広場がよい（花見、イベントに利用できるような）
- ・ イスがあたり芝生があたり、憩いの広場としての広場
- ・ 市民の窓口は新庁舎にまとめる
- ・ 広場周りにトイレやコンビニがあるとよい
- ・ 冷暖房は必要
- ・ 地下の駐車場があるとよい
- ・ 子どもが待っているあいだに退屈しないづくり
- ・ 印象に残る建物がよい
- ・ 旧庁舎（新館）とのバランスの良いデザイン
- ・ 広場に水場をつくりたい
- ・ 連絡通路は雪・雨が入らないように
- ・ 車イス利用者が利用しやすい広い通路
- ・ 災害対策は防災備蓄は考えているか
- ・ 駐車場は現状台数を確保してほしい
- ・ 庁舎の間に大きな広場があるのはいい
- ・ 外壁レンガのイメージ
- ・ 目立つ色が良い（わかりやすい色）
- ・ 明るい外壁(白っぽく)
- ・ 建物（庁舎）としてわかりやすい工夫がほしい
- ・ パーキングは一か所にまとめる
- ・ パーキングと庁舎の繋がりを大切に
- ・ バリアフリーに対応したパーキング計画
- ・ パーキングは現庁舎よりも多く取ってほしい



○敷地特性を踏まえた要望

- ・ 官庁街通りから建物までの距離を短くしてほしい（高齢者への配慮）
- ・ 最近できた3つの公共施設のメリット、デメリットを踏まえた計画にしてほしい（ガラス、融雪）
- ・ 1、2階から桜を見る場所がほしい
- ・ 人口規模（6万5,000人）に見合った庁舎にしてほしい
- ・ ヘリポートがほしい（中央病院との連携）
- ・ 犬を散歩している人もいる。ドッグレストとかもあるとよい
- ・ 官庁街通りを散歩している人が休憩できるスペース
- ・ 既存の木を残せばいい
- ・ 樹木の植え直しも考えてほしい
- ・ 残せる木は残してほしい（1～2本くらい）

○エントランス・待合ホール

- ・パンフレット等のスペースは1箇所にとどめるべき
- ・特定の種類の情報のみでなく、時期や時間帯に応じた情報を掲示するシステム
- ・電子新聞やデジタルサイネージ
- ・キッズコーナーはタイルカーペットのみでよい
- ・靴の脱げるキッズコーナーがよい
- ・エレベーター、トイレのバランスのよい配置
- ・wi-fiをつけてほしい
- ・デジタルサイネージで常に新しい情報を
- ・小さい音でリラックスミュージックを流すのもいいかも
- ・エントランスホールに十和田の芸術家の作品を展示
- ・十和田の特産物をアピール
- ・床素材は音の響かないようなもの（ヒールを履いている人に配慮）
- ・床は滑らない素材で
- ・吹抜けは見た目はよいが寒いのでは
- ・総合案内と分るように設けてほしい
- ・現状は入ってまっすぐのところに待合があり寒い
- ・風除室の入り方（向き）は風が入ってこないような工夫を
- ・地元の子供たちの絵も展示して、親しみやすい庁舎にしてはどうか
- ・公衆電話は必要
- ・防災の観点から備蓄水槽があるとよい
- ・現在の窓口は狭い印象
- ・今の窓口は暗い
- ・わかりやすい動線計画
- ・吹抜けのエアコン管理をしっかりと
- ・温かみのある空間がよい

○各種手続き窓口

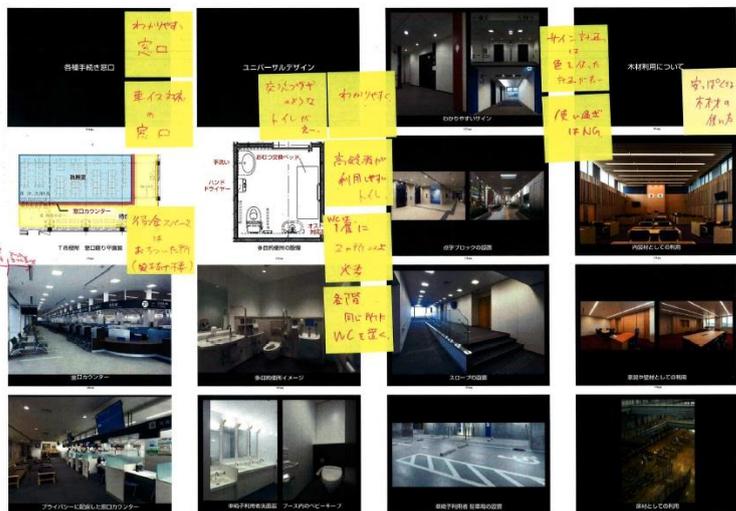
- ・「背中が見えない」相談カウンター
- ・窓口空間にカウンターだけだと威圧感がある
- ・窓口カウンターを仕切りすぎると殺風景
- ・市民の動く距離を短くしてほしい
- ・窓口手続きは1箇所で行いたい。建物間を行き来したくない
- ・レイアウトの変更に対応しやすい執務室
- ・わかりやすい窓口
- ・車イス対応の窓口
- ・待合スペースは落ち着いた所（吹抜け不要）

○ユニバーサルデザイン

- ・2040年には65歳以上が十和田市の50%程度になるので配慮が必要
- ・高齢者には、サインはやはり色より番号が分かりやすい
- ・Face to Faceのコミュニケーションは今後も必要
- ・全ての世代に配慮した庁舎
- ・公衆電話は各棟に1台はほしい（災害時に利用）
- ・サインは目線も考えてほしい。大きな文字で
- ・サイン計画は色を使った計画がよい
- ・サインは色の使い過ぎはNG
- ・交流プラザのようなトイレがよい
- ・トイレは1階層に2カ所以上必要
- ・各階同じところにトイレを置く

○木材利用について

- ・窓口カウンターを木材にしたい
- ・現状の傍聴席が狭いので大きくしてほしい
- ・ホルムアルデヒド等に対処してほしい
- ・木材の内装がよい
- ・安っぽくない木材の使い方
- ・西小学校は木材を多用していて落ち着く。今回も木材を使いたい
- ・内装デザインに奥入瀬渓流をイメージしてほしい。外観も



3. 第2回 開催内容

テーマ「敷地利用や施設の配置について考えよう」



第2回ワークショップは、設計事業者から4名、市担当職員4名、市民委員10名、当日参加者3名により開催されました。

まず初めに、設計事業者から、模型を使った敷地利用のイメージや、他の自治体の例、プロポーザル提案時の考え方等の説明がありました。

その後、設計事業者、市担当職員、市民の方々が同じテーブルに着き、3つの班による検討、意見交換が行われました。

各グループから出た主なご意見

○動線計画

- ・駐車場で車両が回れるように
- ・南側（官庁街）からの車の出入口も必要
- ・今の庁舎では北側出入口の周りをごちゃごちゃしているイメージ
- ・身障者や妊婦用パーキングが必要
- ・駐車場が少ない
- ・車を停めるスペースがない（桜の広場のための）
- ・駐車場兼広場
- ・普段から使えるような広場（ごはんを食べることができたりベンチがあったり）
- ・イベント用途は考えなくてよい（ほかにもあるので）
- ・防災イベントとか開いて市民に勉強の場があるとよい
- ・アート広場みたいにかしこまってない公園のような使い方がしたい
- ・防災広場として機能しつつ、日常使いができる広場がほしい
- ・官庁街通りから車を入れないのはいい
- ・駐車場奥まで進んでいって空きがないこともある。空マークとかで入口でわかれば便利
- ・駐車場の管理は考えてほしい。病院利用者も使ったりしている。
- ・敷地外からの階段は現状ほど広くなくてもいい。歩きやすい、ひざが痛くならない素材がいい
- ・市の木モミジも広場に植えてほしい
- ・既存樹はできるだけ残したい。枝は切ってもよい
- ・東屋の設置
- ・ふれあいテラスがよい
- ・フリースペースがあれば人が集まる
- ・外部にもトイレを作る
- ・現状よりも駐車台数が多くとれるように
- ・駐車場を広く
- ・計画している車両出入口でよい
- ・職員出入口の位置に一般利用者の出入口がほしい
- ・北側出入口は風が強いので工夫が必要
- ・春が最も人がベンチを利用している



4. 第3回 開催内容

テーマ「使い方を検証しよう」

第3回ワークショップは、設計事業者から4名、市担当職員5名、市民委員9名、当日参加者3名により開催されました。

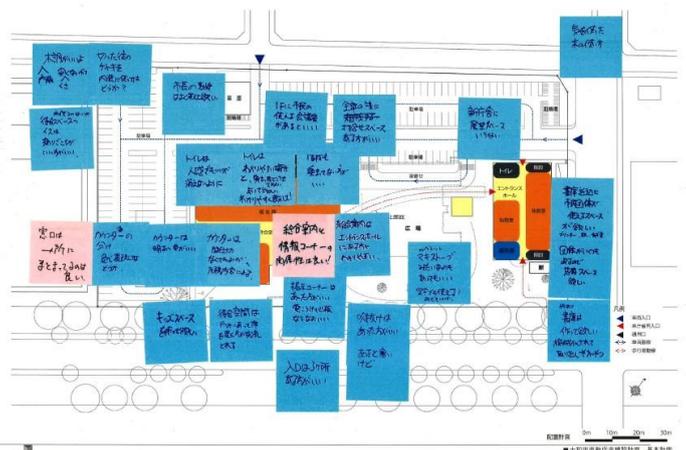
まず初めに、設計事業者から、敷地の配置案や建物の階層構成案、模型を使った建物形状案等の説明がありました。

その後、設計事業者、市担当職員、市民の方々が同じテーブルに着き、2つの班による検討、意見交換が行われました。

各グループから出た主なご意見

○配置計画について

- 公用駐車場の位置を明示してほしい
- 駐車台数は十分（中央駐車場ができたから）
- 西側にも思いやり駐車場があるとよい
- トイレ等の位置はわかりやすく示してほしい
- エントランスにペレットストーブがあるとよい
- エントランスにエレベーターを1台ほしい
- 車寄せの駐車スペースは「思いやり駐車場」としてはどうか（サイン等で対象者を明確に）
- 駐輪場の需要が増えるのではないか
- 駐輪場には屋根があった方がよい
- 今の外トイレは24時間使用可能か。存在がわかりにくい
- 十和田らしい外観がよい
- 広場に十和田らしさを出してもよい
- 街路灯はオレンジ色のあたたかみのある方がよい
- マンホールトイレはあった方がよい
- 芝生の周りを人が歩けるように舗装してほしい
- 通りと敷地内は階段ではなく、スロープですりつけ
- 広場には人が集まるきっかけとなるものを（噴水、足湯）
- イベント時にはステージを作りやすい舗装
- 3Fのテラスは市民が出て桜を見れるように
- 新庁舎に展望スペースはいらぬ
- 3、4Fを引っ込ませることで圧迫感が少なくなるのはよい
- 市長の動線はよく考えてほしい
- 観光案内コーナーが欲しい。十和田の風景を掲示できるとよい。官庁街通りから見えるとよい
- ペレットor薪ストーブみたいなものがあったもよい。外なら災害でも使えそう
- 災害備蓄倉庫は車が入れる場所にすべき
- 広場に建屋はいらぬのでは。東屋はあったもよい



5. まとめ

この度の市民ワークショップは、窓口をはじめとする市民が利用する機会の多い市役所の各機能等について、利用者の視点からの意見を把握し、可能な限り、新庁舎建設の設計等に活かすことを目的として全3回開催しました。

各回ごとに別なテーマを設け、グループに分かれての意見交換を行い、最後に発表していただく形態で実施しました。最初は戸惑った様子も見受けられましたが、各グループとも、徐々に積極的な意見交換が行われました。

今回のワークショップは、市民・市職員・設計業者が同じテーブル上で、和やかな雰囲気の中、市役所というひとつの建物について、真剣に話しあう貴重な場となりました。

今回いただいたご意見の全てを、そのままの形で実現することは難しいかもしれませんが、今後の設計業務を進める上での貴重な考え方をたくさん得ることができました。

市民の皆さまに愛される、よりよい市役所となるよう引き続き取り組んでいきます。ご参加いただきました、市民の皆さま、本当にありがとうございました。

アンケート結果（自由記述欄より）

- ◆自由にいろいろ話せたのが良かった。
- ◆田舎の良さを生かして、暖かく明るい市役所を目指してください。
- ◆みんなで出しあった意見が反映される庁舎ができればと思います。とても楽しかったです。
- ◆設計事業者の方々のわかりやすい説明があり、参加してよかった。
- ◆予算や建設条件が厳しい中、大変だとは思いますが、今回の意見を活かしていただければと思います。
- ◆役所の方や設計の方がテーブルについてくれたのが良かった。
- ◆各界の方々に広く意見を聞くべきだと思います。
- ◆勉強になりました。

